平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年6月　日記入

基本目標	躍動し　魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31310
政策名（章）	第1章　立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当局	環境経済局
基本施策名（節名）	第3節　工業の振興	施策所管課	産業振興課
施　策　名	人材、技術など経営資源の強化支援	課長名	新津　昭博

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

中小製造業の経営基盤を強化するため、人材・技術など経営資源に対する支援を図る。
地域における人材・技術などのネットワーク化、ベンチャー企業や事業拡大・新分野進出を目指す中小企業の研究開発への支援をさがみはら産業創造センター、相模原商工会議所などとの連携により実施する。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	95,689	2,645	再掲分の削除によるもの　△97,492千円
人件費	6,923		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	144	4	
合計	102,612	2,645	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

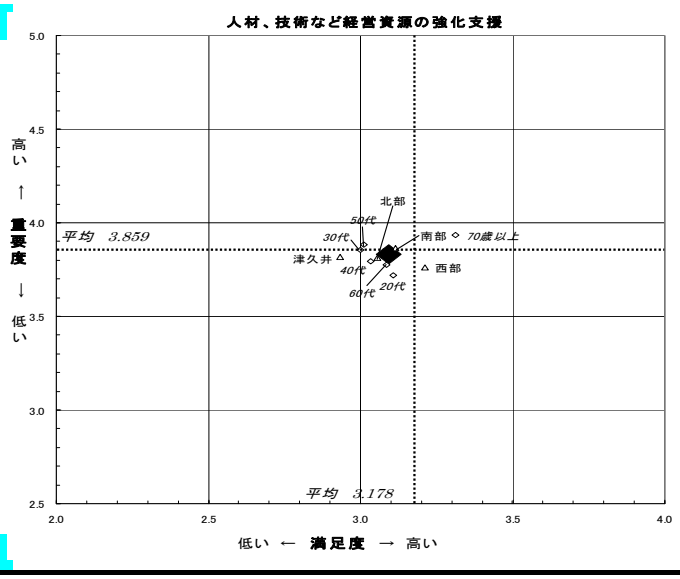
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	中小企業技術者育成支援制度利用件数	講習会、セミナー等を受講した人数	平成22年度までに1社1人と仮定して10社に1社程度の利用があること。（H18事業者数1,248社）
指標2	IT化促進事業利用件数	アドバイザー派遣をした企業のIT化実現件数	目標値を毎年度2件ずつ増加させていく。
指標3			
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：件）	H19	57	60	57	80		100		120	
事業費／人員										
指標2（単位：人）	H19	1	2	1	4		6		8	
事業費／人員										
指標3（単位：件）										
事業費／人員										
指標4（単位：件）										
事業費／人員										
指標5（単位：件）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.092で121施策の中で82番目。
〇重要度は3.830で67番目である。
〇改善要望度は0.0400で51番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は南部で最も高く、西部で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 2 (1)	
合計		3	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	社会経済情勢の変化に対応し、効果的な事業を実施する必要がある。ものづくりを志す若者の減少による後継者・人材不足に加え、現場を支える熟練技術者の退職など、技術継承に対応した新たな事業の構築が必要である。
解決策	「技術の継承」や「技術者のスキルアップ」のための技術者育成施設としての機能を合わせもった、総合的なものづくり支援施設（SIC－3）の整備を検討している。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

	2次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

◆実施事業の費用対効果や事業ニーズについては、市として主体的に検証・分析すること。 ◆商工会議所や産業会館等が実施している事業との住み分けを明確にし、市として実施すべき事業の取捨選択を行うこと。	3次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

人材、技術など経営資源の強化支援

コード	31310

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
~~産業振興課~~	~~産学連携支援事業（再掲）~~					~~再掲~~	~~0.16~~	~~13,444~~	~~14,732~~
~~産業振興課~~	~~広域連携支援事業（再掲）~~					~~再掲~~	~~0.21~~	~~1,518~~	~~3,209~~
~~産業振興課~~	~~中小企業研究開発支援事業（再掲）~~					~~再掲~~	~~0.21~~	~~15,677~~	~~17,368~~
産業振興課	中小企業販路開拓支援事業	0	0	0		1	0.08	3,623	4,267
~~産業振興課~~	~~中小企業国際活動支援事業~~						~~0.04~~	~~1,267~~	~~1,589~~
産業振興課	各種工業団体育成事業 *(団体補助)*	833	1,500	1,500		2	0.02	693	854
~~産業振興課~~	~~産業振興財団補助金（再掲）~~					~~再掲~~	~~0.14~~	~~59,467~~	~~60,594~~
産業振興課	中小企業IT化促進事業	1,600	1,000	1,000	5				0
産業振興課	中小企業技術者育成支援事業	212	1,880	1,880	6				0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		2,645	4,380	4,380			0.86	95,689	102,612